

南海トラフ地震で想定される震度等を見直し 地震への備えもアップデート!

愛媛県地震被害想定 調査結果(中間報告)を発表しました

「愛媛県地震被害想定調査」とは、南海トラフ巨大地震をはじめとする愛媛県に大きな影響を及ぼす地震による被害を想定するために、県が独自に実施している調査です。前回調査から10年以上が経過したことや、国の南海トラフ巨大地震の被害想定が見直されたことを踏まえ、最新の知見およびデータを反映のうえ見直しを行い、9月に中間報告を発表しました。今回は、被害想定

前段となる自然現象(地震動・津波等)の想定をとりまとめたものです。県民の皆さんは、まずお住まいの地域におけるリスクの確認をお願いいたします。想定を上回る自然現象が発生する可能性もあります。「正しく恐れる」ことが大切です。地震がいつ起こっても避難できるような住宅の耐震化、家具の固定、避難場所やその経路の確認など、備えを見直しましょう!

お住まいの地域のリスクを確認したら、**地震への備えを再確認**しましょう!
(例)住宅の耐震化、家具の固定、感震ブレーカーの設置、津波からの早期避難、避難ルートの確認、避難訓練への参加



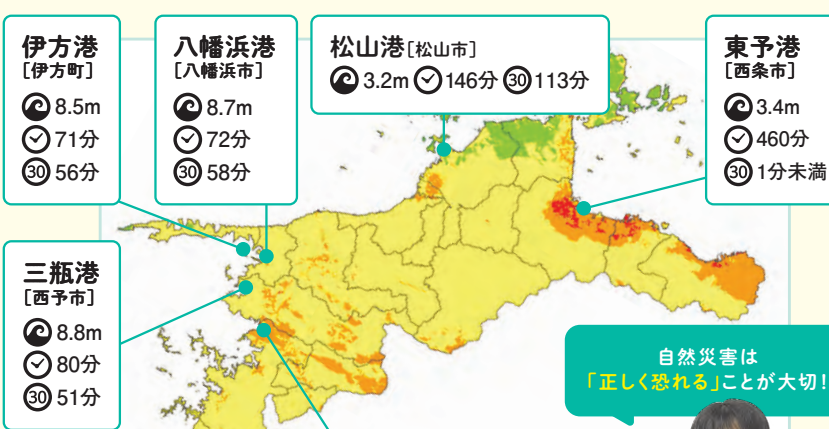
愛媛県地震被害想定 調査結果(中間報告)のポイント!



POINT
01

主要港湾における最大津波等 南海トラフ巨大地震の震度分布、 津波浸水想定の見直し

◎主要港最大津波(T.P) ◎最大津波到達時間 ◎30cm以上浸水開始時間
※T.P:東京湾の平均海面を基準とした高さ ※西条市の浸水開始時間は津波によるものではなく、地震の揺れで堤防が全壊し、海抜ゼロメートル地帯に浸水が開始するもの



POINT
02

市町別でみる 最大震度の見直し

最大震度	市町数	市町名
7	7	今治市、宇和島市、新居浜市、西条市、大洲市、四国中央市、西予市
6強	13	松山市、八幡浜市、伊予市、東温市、上島町、久万高原町、松前町、砥部町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町

愛媛県地震被害
想定調査結果
(中間報告)について



愛媛県が主催する防災イベントやキャンペーンに参加しよう 12/21日は「えひめ防災の日」

詳しくは
コチラから

詳しくは
コチラから

詳しくは
コチラから

詳しくは
コチラから

私たちの「街」を自分たちで守っています!

— えひめ自主防災アワード受賞団体 —

〔西条市〕
橘校区自主防災会 女性部門
当会では、家事や介護の経験を活かし、地域の防災力向上に努めています。防災士養成や防災教室の開催、防災グッズ展示などを通して自助・共助の意識を高め、誰もが実践できる備えを広めています。令和6年に実施した一斉避難訓練では、多くの住民が参加し、混乱なく避難を完了。「橘校区は防災に強い」という地域ブランドが定着し、住民の安心と結束を深める成果を上げていると感じています。

〔八幡浜市〕
白浜地区自主防災会
要支援者が安心して避難できる体制づくりを目指し、当会では令和5年度から「要支援者避難プロジェクト」を推進。民生委員、防災士および地区役員が個別訪問を行い、「わたしの避難計画」「わたしの避難カード」を作成・配付しています。以前は少なかった訓練参加者が大幅に増加しており、地域全体の防災意識が向上。近隣同士が支え合う具体的な支援体制も広がり、強い信頼の輪と絆が生まれています。



TOPICS

防災士の活動事例を学べる「えひめ自主防災フォーラム」

えひめ防災週間のメインイベントとして「えひめ自主防災フォーラム」を開催します。「えひめ自主防災アワード」を受賞した県内各地の素晴らしい取り組みの紹介等を通じて、自分や家族の命を守る「自助」、そして地域で助け合う「共助」のヒントがきっと見つかります。防災士の活躍や役立つ備えを知りたい方、大歓迎! ぜひお気軽にご参加ください。

◎12/21(日)14:30~16:30 ※観覧は事前申し込みが必要 ◎県男女共同参画センター多目的ホールほか ◎二次元コードから申し込み

詳しくは
コチラから